

作業環境測定研究発表会で事例発表を実施

富山県国際会議場にて11月に開催された第39回作業環境測定研究発表会(第59回日本労働衛生工学会と同時開催)にて、「測定対象物質以外の測定事例(定量的なリスクアセスメントの実施事例)」という演題で事例研究発表を行いました。同研究発表会は、毎年11月に日本作業環境測定協会と労働衛生工学会の共催により実施される発表会で、全国の作業環境測定機関や労働衛生コンサルタント、大学等の教育機関、行政関係者など労働安全衛生の専門家が一同に集う業界にとっては大きなイベントです。今年も250名以上の参加者があったようです。

今回の発表では、2016年6月より義務化された化学物質のリスクアセスメントを切り口として、法令での作業環境測定が義務付けられている物質以外の化学物質(ヘキサメチレン=ジイソシアネート)の測定・評価事例について発表を行い、会場からもいろいろな意見や質問もいただきました。

当社では、作業環境測定をはじめ局所排気装置の設計など労働安全衛生に係る業務に会社設立時より力を入れていますが、今後も社外での発表を行うことにより、さらに技術力を高めるため努力していきたいと思います。

